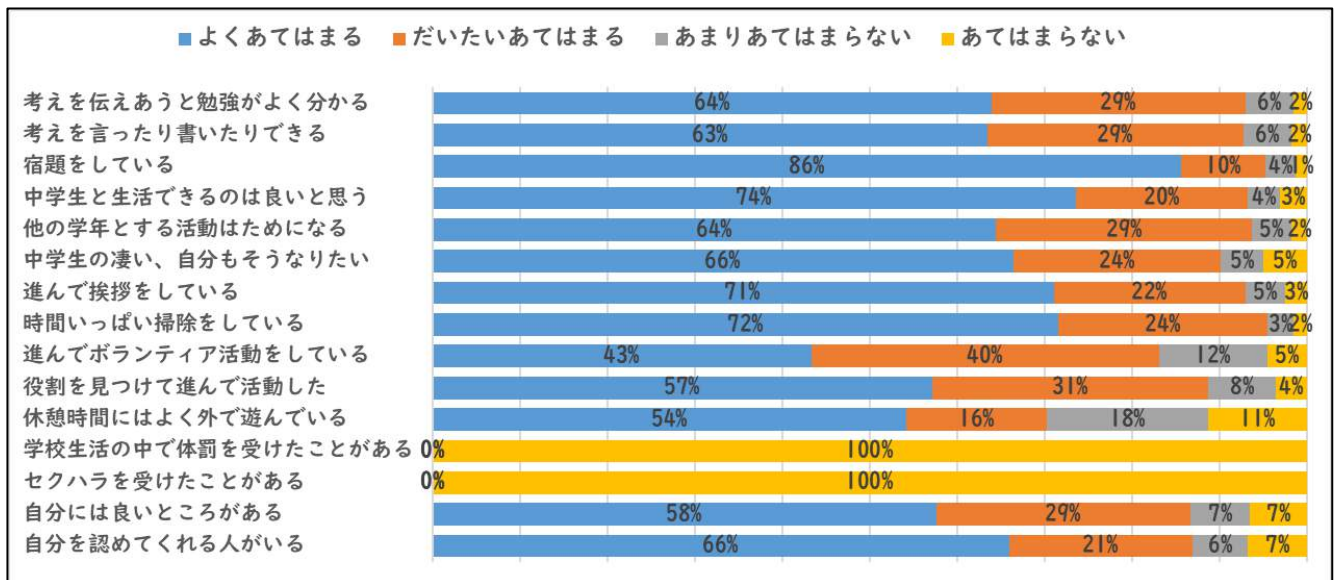


今年も警報級の暑さが続いています。子供たちは元気に夏休みを満喫しておりますでしょうか。ぜひ、どんなことでもいので、子供自身で目標を立て、我慢強さ・粘り強さを発揮しながら、主体的な生活を送ってほしいと思います。そして、まずは、8月21日（水）の登校日に元気に送り出してください。

さて、一学期末は、学校評価アンケートのご回答ありがとうございました。結果をお伝えいたします。

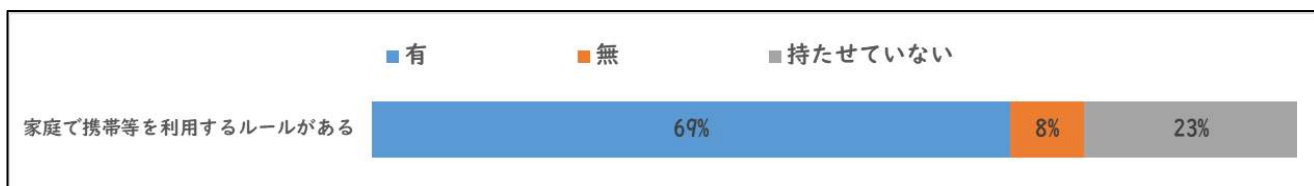
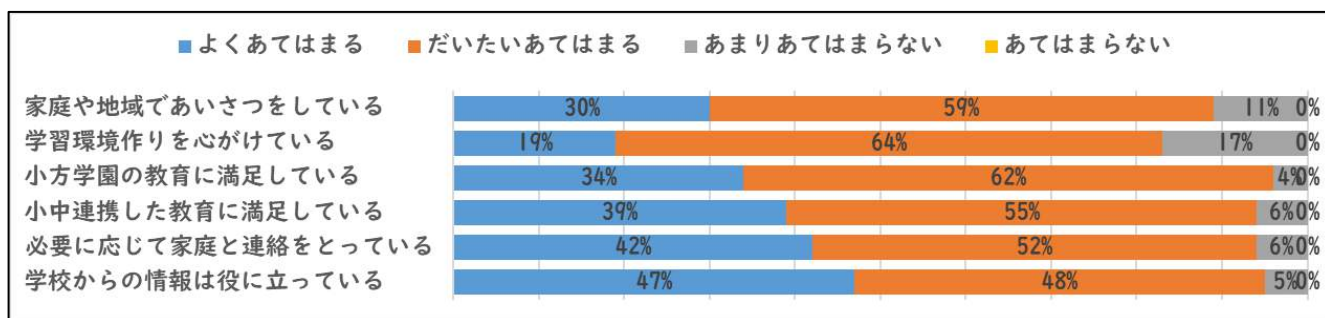
学校評価アンケート結果(7月実施)

【児童アンケート結果】



学校教育目標の「かしこく」に関しては、問いの構造を意識した発問を通して、じっくり考えはつきり表現できる自立した児童の育成を目指して取り組みました。90%以上の児童が、自分の考えを伝え合うことで学習の深まりを実感できており、考えを伝え合うために自分の考えを文字言語で表現し、音声言語で他者と対話することができていました。また、「小中一貫教育の推進」に関しては、施設一体型小中一貫校の強みを生かし、お手紙交流や合同レク、中学校の大会の表彰式に参加するなど、中学生の姿を見る機会や触れ合える場を多く設定したことで、90%以上の児童が、中学生へのあこがれの気持ちをもったり将来像を思い描くことができたりしています。2学期からも引き続き交流の場を多くもつよう計画しています。「なかよく」に関しては、自己存在感や自己有用感を感じている児童は80%以上でした。それにつながる挨拶・掃除・ボランティアなどについて、挨拶・掃除については90%以上の児童が肯定的評価をしています。ボランティアや役割を進んで行うことについて、20%程度の児童ができていないと回答しています。「みんなが自分だったら」を考えて行動できるよう指導を継続していくとともに、人の役に立ってうれしいと思える場を仕組むことを継続していきます。

【保護者アンケート結果】



グラフでは、どの項目においても「あてはまらない」が0%となっていますが、四捨五入したものであり、必ずしも0ではありませんが、おおむね小方学園の教育に満足されている結果となりました。また、教職員一同元気の出るような温かいご意見も多くいただき、小方学園の教育にご理解ご協力いただいているおかげだと感謝しております。引き続き施設一体型小中一貫教育校の強みを生かし取組を進めていきます。2学期には、小中交流活動として、お手紙交流・地域清掃・交流給食・あこがれ授業参観等予定しています。教職員間でも小中合同研修や生徒指導に係る連携を密に行い、9年間での子供の成長をサポートしていきます。

また、複数のご意見をいただきました「下校時刻表の配布」についてですが、ペーパーレスの観点から全員への配布は行いません。ご希望される方は、お子さんを通して担任へお知らせください。また、「学校グラウンド開放」についてですが、小方小通信7月号でもお伝えした通り、使用を希望される方は教育委員会で手続きを行い、校長の許可を得る必要がありますので、開放はできません(団体での申請のみ可)。その他のご意見に関しましては、学校教育活動全体を総合的に考え行っていくしますので、ご理解ご協力いただきますようお願いします。

平和祈念式典参加

8月6日、大竹市総合市民会館で第42回平和祈念式典が行われました。8時15分には大竹市でもサイレンが鳴りましたが、黙とうは行いましたか？小方小学校からは、6年2組の曾我美咲さんと6年3組の林愛璃さんが参列し、全校児童で折った折り鶴の献納を行いました。みんなが安全安心な生活が送れるためには、自分のことだけ考えるのではなく「自分がやっていることをみんながやったらどうなるか」「自分が同じことをされたらどう感じるか」を客観的に考えられる人にならなければいけません。学校でも自他の命を大切にしない言動、いじめ等は絶対に許しません。道徳の時間を要としてこれからも児童の心を育てていきます。

